令和4年度 No.11

駒岡小学校だより

3月号

感謝の気持ちが幸せを生む

校長　岸田 薫

早いもので、令和4年度も、あと1か月を残すのみとなりました。3月17日には第50回卒業式が、24日には修了式が行われ、今年度の教育活動も区切りを迎えます。この一年の各ご家庭や地域の皆様のご協力に感謝いたしますとともに、来年度への第一歩となりますように、日々の教育活動に丁寧に取り組んでまいります。

さて、中面でも取り上げていますが、2月17日に、6年生のおうちの方をお招きして「感謝と成長の会」を開催いたしました。「感謝」という言葉は、この時期になると、学校では6年生に対してよく使われる言葉です。「6年生ありがとう集会」というのもあります。先日も、なかよし班ごとに集まって、「6年生にしてもらって嬉しかったこと」を伝える子どもたちの姿がありました。感謝を伝える側の下級生も、伝えられる6年生も、互いにちょっと恥ずかしそうで、でも嬉しそうで、見ているわたしもあたたかい気持ちになりました。

6年生なら、下級生に優しくするのは当たり前。親なら、子を育てるのは当たり前。そうかもしれないけれど、それを当たり前と思わないところに、「感謝」が生まれるのだと思います。「当たり前」の裏側にある行動や思いを想像し、それが具体的にイメージできたときに、「感謝」の思いが育つのだと思います。

6年生がおうちの方へ感謝の気持ちを込めて綴った手紙には、どんなことが書かれていたのでしょう。手紙を読んで涙ぐまれる方もいらっしゃいました。きっと、どれも素敵な手紙だったのだろうな、と感じました。でも、感謝の気持ちを伝えたのは、手紙だけではなかったと思います。6年生の成長した姿、堂々とした姿、一生懸命な姿、楽しそうな姿、そうした姿こそが、そのまま「感謝」を伝えていました。それは、我々、職員にとっても何より嬉しく、そうした姿を見せてくれたことに感謝しています。するほうも、されるほうも、どちらも幸せな気持ちになるのが「感謝」「ありがとう」なのだと思います。

今年、駒小を巣立っていく立派に成長した129名に、心からのありがとうとおめでとうを伝えます。そして、その姿を引き継いでいく628名の駒っ子たちの、この一年の成長と来年度の頑張りにも、ありがとうの気持ちとエールを贈ります。

各ご家庭の皆様、地域の皆様には、一年間、本校の教育活動にご理解とご協力を賜りましたこと、心より感謝申し上げます。皆様のあたたかい目や支えがあったからこそ、子どもたちは伸び伸びと育ち、成長することができました。

令和5年度も、「駒っ子」を健やかに育むために、学校と家庭・地域が手を取り合って、豊かな教育活動を進めてまいりたいと思います。一年間、本当にありがとうございました。